

ウッドデザイン賞 2016を 振り返る

2回目の開催となった、ウッドデザイン賞2016は、総応募数451点、受賞数251点という結果となりました。2016年6月20日から応募受付を開始、7月27日に締め切りました。その後、書類による第一次審査を経て、第二次審査の実施と入賞（ウッドデザイン賞）の発表、さらに最終審査によって最優秀賞、優秀賞、奨励賞が選ばれました。上位賞の発表、表彰式とともに受賞作品の展示、受賞者、審査委員によるシンポジウムの開催、その後の交流会と、新たな木づくりに取り組む多くの方々が集い、活発な議論を交わし、交流を深めることができました。ウッドデザイン賞2016実施の様子を写真とともに振り返ります。

審査会の様子

第二次審査では、木製品等の現物を始め、多くのプレゼンテーション資料が提出されてきます。各分野を代表する審査委員がひとつひとつに触れ、見入りながら審査が進みます。「これはどの点に新しさがあるか」「ただ木を使う、だけではない木ならではの良さを引き出しているか」など、論点に立ち返りながら、延々と議論が続きました。



発表・表彰式

昨年に続き、最終審査を経て選ばれた最優秀賞（1点）、優秀賞（9点）、奨励賞（15点）の発表及び表彰式が12月8日、日本最大級の環境展示会「エコプロ2016」のイベントステージにおいて実施されました。表彰式では、今井敏林野庁長官、吉条良明全国木材協同組合連合会会長のご臨席を賜わりました。受賞者には賞状が手渡され、栄えあるウッドデザイン賞の上位賞に選出されたことの喜びの音が多数、聞かれました。



ライフスタイルデザイン部門優秀賞の皆さん 最優秀賞・トヨタ自動車様 今井敬様

吉条良明様 赤池審査委員長 ハートフルデザイン部門優秀賞の皆さん ソーシャルデザイン部門優秀賞の皆さん

シンポジウム&交流会

表彰式後、東京ビッグサイトのレセプションホールにおいて、「ウッドデザイン賞2016シンポジウム」が開催されました。今年には受賞者から最優秀賞、各部門優秀賞から1団体ずつ、計4者の開発ストーリーのプレゼンテーション、審査委員によるセッションが行なわれました。その後、受賞者、関係者、審査委員を交えた交流会が催され、お互いの取組や製品開発などについて熱く語り合っていました。



受賞作品展示

「エコプロ2016」では、「ウッドデザイン賞2016特設ブース」を設置し、受賞作品全点のパネル展示、木製品の一部の実物展示が行われました。最優秀賞の木製自動車「UMUSUMI」の実車を始め、見て、触れることができるユークで機能的な木の作品が数多く展示され、大変多くの来場者にお越しいただきました。スマートフォンで写真を撮影し、さっそくSNSにアップしている方も多くいらっしゃいました。



ライフスタイル提案ゾーン

新たな試みとして、「木のある快適で豊かな暮らし」のワンシーンを再現しました。一般社団法人日本インテリアコーディネーター協会（JICA）東京圏支部・木づかいクラブ様の御協力のもと、大変素敵な空間を多くの方々に楽しんでいただきました。

